



ドメインの管理

Security Cloud Control でエンタープライズのドメインの要求および検証できます。これは、ID プロバイダーを Security Cloud Sign On と統合するための前提条件です。また、エンタープライズ管理者が要求されたドメインでユーザーのパスワードまたは MFA 設定をリセットできるようにするためにも必要です。

- [ドメインの要求および検証 \(1 ページ\)](#)

ドメインの要求および検証

- 作成した DNS レコードは、Security Cloud Control がドメインを検証したら削除できます。
- 現在、Security Cloud Control を使用して単一のドメインを検証できます。複数のドメインを検証する必要がある場合、[Cisco Technical Assistance Center \(TAC\)](#) でケースを開いてください。

始める前に

このタスクを完了するには、ドメインのレジストラサービスで DNS レコードを作成する必要があります。

[ドメイン (Domains)] タブには、[ドメインの要求および検証](#) または検証中のドメインが一覧表示されます。ドメインを要求済みでない場合は、代わりに [ドメインの追加 (+Add Domain)] ボタンが表示されます。

ステップ 1 [ドメイン (Domains)] タブを選択します。

ステップ 2 [ドメインの追加 (+Add Domain)] をクリックします。

ステップ 3 [新しいドメインの追加 (Add New Domain)] 画面で、要求するドメイン名を入力し、[次へ (Next)] をクリックします。

[検証 (Verification)] ページには、ドメインレジストラで作成する必要がある TXT レコードのレコード名と値が表示されます。

Add New Domain

1 Domain

2 Verification

Verification

Upload the TXT record to the domain's DNS server. Then click **Verify**.

Record name

Type

Value

Cancel **Back** **Verify**

ステップ 4 新しいブラウザタブで、ドメイン名レジストラサービスにサインインします。

ステップ 5 指定されたレコード名と Security Cloud Control から提供された値を使用して、新しい TXT レコードを作成します。

ステップ 6 変更を保存し、DNS レコードが反映されるまで待ちます。

ステップ 7 [新しいドメインの追加 (Add New Domain)] に戻り、[検証 (Verify)] をクリックします。

検証が失敗したかどうかを示すメッセージが表示されます。検証に失敗した場合は、次の手順を試してください。

- DNS レコードが反映されるまでしばらく待ちます。
- ドメインレジストラで作成した DNS レコードのタイプ、名前、値が Security Cloud Control で生成された値と一致することを検証します。

次のタスク

電子メールドメインを検証したら、次の操作を実行できます。

- [Security Cloud Sign On と ID プロバイダーの統合](#)
- [要求されたドメイン内のユーザーのパスワードと MFA 設定をリセット](#)します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。